



射水市立東明小学校 学校だより 第3号

# 東明っ子

6月

令和8年6月19日

**自分で考え、行動できるように… 経験を積み重ねよう！**



近年、「今まで経験したことのない…」出来事を耳にする機会が増えています。自然災害だけでなく、日常生活の中でも思いがけない出来事が起こる時代となりました。そのような中で子供たちに求められるのは、周囲の指示を待つだけでなく、自分で状況を考え、判断し、自分の身を守る力であると考えています。

しかし、その力は一朝一夕に身に付くものではありません。日々の生活の中での様々な経験の積み重ねがあってこそ、初めての出来事に出会ったときにも、落ち着いて考え、適切に行動することができるようになります。過去の経験が判断の手がかりとなり、危険を予測したり、行動を選択したりする力につながっていくのです。



学校では、交通安全や防災、不審者対応、SNSの使い方など、様々な場面を想定した安全指導を行っています。また、友達との関わりの中で起こるトラブルについても、大切な学びの機会と捉えています。自分の行動を振り返ったり、相手の気持ちを考えたりする経験を積み重ねることで、子供たちは少しずつ判断力や行動力を身に付けていきます。

これからも、子供たちが自ら考え、選び、行動できる力を育てていくことができるよう、支援を続けてまいります。それが、いざというときに自分の命を守る力につながると信じています。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ◇ハッピータイム◇ 6月3日(水)

給食後の30分間(普段は、昼休みと清掃の時間帯)に、縦割り班の仲間と一緒に遊びました。遊びの内容や遊びの場所の割り振りを、6年生のリーダーが相談して決めました。雨が降りグラウンドが使えなかったため、今回は、校舎内での遊びに取り組みました。「だるまさんが転んだ」「ハンカチ落とし」「おにごっこ」「ドッジボール」「じゃんけん」等、限られたスペースでの遊びを工夫していました。初めて参加した1年生も遊びのルールを教してもらいながら、楽しく過ごしました。



## ◇避難訓練◇ 6月4日(木)

火災が発生した場合、直ちに全員が「安全に避難できる能力」を身に付けることをねらいとして避難訓練を行いました。

- ① 放送を静かにしっかりと聞く。
- ② ハンカチやタオル等で鼻や口を押さえながら速歩で避難し、外へ出たら、ハンカチやタオル等を外して駆け足で避難する。
- ③ 「お(さない)・か(けない)・し(やべらない)・も(どらない)」を守って避難する。

をしっかりと守ることを目指しました。また、自分の教室から外へ避難するときの避難経路が昨年度と変更になっているので、今年度の避難経路を確認しました。子供たちは慌てることなく落ち着いて避難し、避難後も静かに黙って整列しました。射水消防署の方に来校していただき、避難の様子を見ていただきましたが、真剣に訓練に取り組んでいる子供たちをほめてくださいました。今日の訓練をいざというときの行動につなげてほしいです。



## ◇BFC入隊式◇ 6月4日(木)

少年消防クラブ(BFC)は、少年少女の頃から火災に関する知識を身に付け、自分たちのまわりから火災を出さない環境をつくることを目的として設立されています。5年生がそのクラブの隊員になるための入隊式を行いました。代表の子供の後に続いて、誓いの言葉を言いました。そして、射水消防署の方から、日本で起きている火災の件数やどのような原因で火災が起きているかなどのお話を聞きました。子供たちは、あらためて火災の恐ろしさや火災を予防するための方法などを学び、「火災予防」の大切さを実感しました。





# 各学年の様子



## 1・2年生【校外学習 ファミリーパーク】 6月12日(金)

1・2年生と一緒に、ファミリーパークに出かけました。1年生にとっては、初めての校外学習でした。色団ごとの縦割り班の2年生と一緒に活動に取り組みました。行き帰りのバス、ファミリーパークでの活動、お弁当等、2年生が1年生の様子を気にかけてながら過ごしました。ふれあいコーナーでは、動物に直接接触したり、えさをあげたりしました。なるほど教室では、動物の骨から目や耳の位置が動物によって違うことを学びました。お弁当の後には、大きな遊具で思いっきり遊びました。



## 3年生【総合的な学習の時間 日本や東明につながる国】 6月中旬

3年生から始まった総合的な学習の時間では、日本や東明につながる国について探求する活動に取り組んでいます。たくさんの国とのつながりがありますが、始めの段階として、自分たちが住んでいる日本のことを調べています。一人一人が日本の国のどんなことを調べたいかを選択して調べています。この日は、学校図書館にある書籍を用いて、黙々と調べ活動に取り組んでいました。自分が知りたいことがなかなか見付からず、担任や図書館司書に得たい情報を相談したり、友達と一緒に情報を探したりするなど、目的をしっかりとって学びを深めています。調べたことをまとめ、発表する予定です。



## 4年生【環境に関する出前講座】 6月10日(水)



環境問題の一つであるプラスチックをテーマとして、コンビニエンスストアの方に話をいただきました。プラスチックは、きちんと廃棄しなかったり捨てられたりすると、川や海に流れ込み、海洋汚染を引き起こすこと、海の生き物の体の中に蓄積され、人間にも影響を及ぼす可能性があることから、コンビニエンスストアでは、プラスチックを使わない工夫を考えて取り組んでいることを知りました。また、食品ロスを減らすために、野菜の端材を使った商品を販売していることも知りました。子供たちは、環境を守るために、エコバックを使う、ごみのポイ捨てをしない、食品を買うときは食べられる分だけにするなど、自分ができることを考えました。

## 5年生【ドローンを活用したプログラミング体験教室】 6月4日(木)

ドローンを活用したプログラミングを体験しました。まず、コントローラを用いてドローンを手動飛行させました。体育館内に設置された障害物の上にドローンを着陸させたり、輪の中をくぐらせたりするなど、一人一人が操作を体験しました。次に、コースを周回するため、飛行する長さを巻き尺で測定してプログラミングを行いました。そして、実際にドローンを自動飛行させました。ドローンはなかなか思い通りには飛行しないため、子供たちは、何度もプログラムを修正して取り組みました。富山県立大学の先生と学生さんにサポートしていただいたおかげで、たっぷり体験することができました。



## 6年生【認知症サポーター養成講座】 6月11日(木)



射水市包括支援センターの方から、脳の病気である認知症の基礎的な知識や認知症の方に対する望ましい関わり方を学びました。子供たちは、認知症は脳の細胞が死ぬことで起こる病気であり、高齢になればその病気になる確率が高くなること、認知症になると不安な気持ちになることなどを知りました。そのために自分たちができることは、その人の不安な気持ちを感じ取ったり、困っているときには手を貸したり、優しく言葉をかけたりすることであると、説明や動画、ロールプレイ等を通して学びました。養成講座で学んだことを、今後の学校生活でも生かしてほしいです。

